



LFA

139号
2018年10月

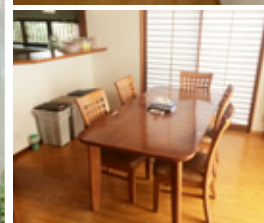
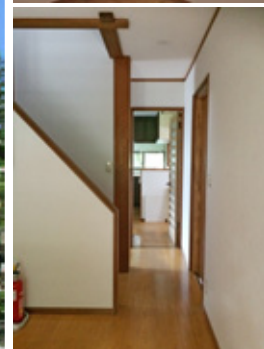
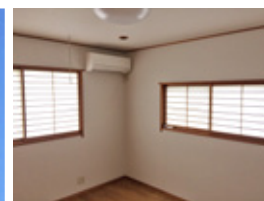
最新情報は
HPからどうぞ！



光友会ホームページ
<http://www.lfa.jp>

2018年8月1日にオープンしました

▼「藤沢サンライズおおば」の外観と内装



グループホーム『藤沢サンライズおおば』

光友会では障害者の地域移行を目的にした6番目のグループホームになります。『ぜんぎょう』にお住まいだった4名の方がお引越しし、新たに1名の方を受け入れ、定員5名で運営しています。

立地は、すぐそばにショッピングセンターや医療機関があり、地元の方が多く住まわれていて、畑などもあるので閑静な住宅街にあります。

アクセスは辻堂駅からバスで10分、藤沢駅からバスで25分です。近隣には藤沢でも桜で有名な大庭城址公園や引地川親水公園、舟地藏公園と自然豊かな所です。



Index - もくじ -

P1 サンライズおおばオープンしました | P2 コラムあーいえばこーゆーかい㊟ | P2.3.4 事業所から
P6 ふくし村まつり大盛況でした | P7 第3回川柳募集について | P8 光友会事業推進協議会だより

あーいえば こーゆーかい

39

理事長 五十嵐 紀子

今年は秋が短いと言われているが、今朝天気予報を聞いて、14℃台と聞くと実感せざるを得ない状況がある。

秋の長雨は予報どおりで、暫く青空と太陽にはお目にかかっていない。そろそろ“天高く馬こゆる秋”を満喫したい気持である。

さて、先月の9月20日～21日に全国社会福祉法人経営者協議会主催の全国大会が長野に於いて開催された。

大きな制度改革があって2年目の今年、磯会長が基調報告の中で強調されたのは、社会福祉法人をめぐる議論は新しいステージに入ったと言うことであった。それは、制度論から実践論であり、時代を先取りした法人経営の確立をしなければならないと言うものであった。

確かに我々は、従来長期間に亘り“こうした制度を作るべき”とか“この制度はこうあるべき”等の制度に対する議論は各地・各所で盛んに行ってきた。反面、自法人で何を実践したのか、ま

た出来たのかの議論は余り得意ではなかった。即ち制度上の事業は実施できても、自らが考え、地域のためになる事を実践している法人は、それほど多くはないのが実態と言わざるを得ない。そんな中で21日の午前中に行われたパネルディスカッションで、パネリストの1人として登場したNPO法人抱樸(ほうぼく)の理事長の奥田知志氏の報告は、大変な感動を会場の参加者に与えた。“あんたもわたしもおんなじいのち”をキャッチフレーズにかかげたこのNPO法人は、約2年間の自主活動を経て2000年11月にホームレス支援機構として認証された団体である。

以来、ホームレスの方々への炊き出し、物資提供、保健医療支援、人権保護等の基礎的支援だけでなく、沢山の自立支援、またホームレスを生まないための社会形成事業等実に多くの必要事業を実践している。

とり分け、活動の基本的な考え方に「福祉とは制度でなく、人に福が止まること」、「共生とは制度でなく、断らないこと」を掲げている事に深い感銘を受け、私共も原点に戻り、真の福祉について再考する機会を与えられた次第である。このNPO法人の伴走支援をキーワードにして、私達がもう一度、福祉とは、地域とは、共生について、考え議論を深めてはみませんか。

事業所だより

湘南希望の郷

リフト導入されました！

丸山 芽里

湘南希望の郷大規模改修に伴い、以前より使っていた会議室を改修し、2018年3月から新たに機能訓練室として使用し始めました。

そして8月には組立据え置き式リフトが導入され、職員だけではなく入居者様・利用者様が移乗される時の負担が大幅に軽減されるようになりました。またこのリフトはベルト付きベストに変えると、立位訓練・歩行訓練も可能なものとなっています。



実際にこのリフトで立位訓練を行っている市川さんに感想を伺うと、「一人で立っている感じがして嬉しい！」と笑顔でコメントしてくださいました。

藤沢サンライズ

ありがとう！藤沢サンライズぜんぎょう

笹井 俊二

2018年8月1日に移転し、新たに「藤沢サンライズおおば」として新生を果たした「藤沢サンライズぜんぎょう」。ノリの良い利用者の多い「ぜんぎょう」では、食事どきや利用者ミーティングでも明るい笑いが絶えず、お誕生日に得意のキーボード演奏でお祝いする等、楽しい日々でした。「おおば」に引き継がれたそれらの思いは、明るい未来へ向かう事でしょう。ありがとう、ぜんぎょう！



事業所だより

ライフ湘南

ライフ湘南日帰り旅行

櫻井 美樹男



10月5日に利用者58名、職員12名の総勢70名で富士急ハイランドに行ってきました。到着後皆で記念撮影、昼食のほうとうを頂き、その後は班ごとに分かれて楽しみました。絶叫マシンやメリーゴーランド、観覧車など楽しいアトラクションがたくさんある中で、自分たちが乗りたいものに各自が乗ることができて楽しいひと時を過ごしました。

帰りには、お土産売り場で皆さん思い思いの物を買うことができました。行き帰りのバスの中でもカラオケやDVD鑑賞をするなど、とても楽しい1日となりました。心配だった天気も後半は多少雨に降られましたが、全て予定通りの時間で終了することができてホッとしました。

寒川事業所

季節限定メニュー登場！

三陸産さんまフライとかぼちゃコロッケ定食

加藤 亮郎

秋の季節限定メニューとして「さんまフライとかぼちゃコロッケ定食」が新登場！

三陸産さんまの開きを丸ごと1匹、豪快にフライにしました。外はカラッと中身はフワッと肉厚なさんまならではの食感を、かぼちゃコロッケと共に秋の風味を是非ご堪能ください！

利用者職員一同お待ちしております！！



児童デイサービスセンター おそごう

イベント盛りだくさん

石井 健太

児童デイサービスセンターおそごうでは、週替わりにイベントを行ないました。

たこ焼きパーティー、スイカ割りや近隣の公園にてシャボン玉遊びや遊具を使っの活動、カレーパーティー、ランチ外出、流しそうめんなど行ないました。どのイベントも皆、目をキラキラさせて活動されています。



普段の活動では体験できないことも皆と一緒に楽しみながら取り組みました。

新学期はじまってからも主体性を大事に活動していきます。

藤沢市太陽の家 しいの実学園

夏の思い出

大竹 有希

毎年、夏になると白浜養護学校のプールを借りています。学園では味わう事が出来ない、大きなプールに保護者の方と一緒に入りました。

泳いだり潜ったり、歩いてみたりと様々な遊び方で楽しんでいました。中には、大きなプールに入る事が初めてのお子さんもいましたが、浮き輪やマット等を使用し、保護者や職員と一緒にプールの時間を過ごしました。

とても暑かった夏。大きなプールに入り涼しく過ごす事ができました。



事業所だより

藤沢市太陽の家 藤の実学園

プールを楽しみました！！

福田 千弥

7月～9月にかけて、夏季プログラムとしてプールに行きました。近隣施設の八部公園プール、鵜洋小学校プール、太陽の家敷地内にありますYAMAHAプールを利用しました。浮き輪やビート板などを使って遊び、みなさん存分に



プールを楽しまれていて、毎日暑い日が続いていましたがとても楽しい夏を過ごしました。

いそご地域活動ホーム いぶき

ニューひばり号です！！

清淵 崇

いそご地域活動ホームいぶきでは、生活介護事業を中心に送迎車を日常的に運行させています。2005年の開所以来稼働しているワゴン車も数台ありますが、7月18日にいぶき後援会から、車いす2台乗車が可能なワゴン車1台を寄贈して頂きました。

区域の特徴である高低差のある地形をもともしないパワフルな走りぶり、安定した乗り心地を併せ持ち、地域福祉推進の大きな力になってくれています。



藤沢市高次脳機能障がい者 相談支援事業所 チャレンジⅡ 高次脳機能障害に関する事例検討会

平野 美香子

10月3日に事例検討会を行いました。この会を通して職種による視点の違いを知り、他職種連携を促進する為のネットワークづくりに貢献できればと考えています。今回は医療、障害相談、包括、福祉事業所等から26名の方にご参加いただき、活発な意見が多数出されました。アンケートにも「異なる立場から事例を考えた時に視点が違ってくることが理解できた」「他職種の方々とのグループワークはとても良い勉強になった」といった前向きな感想が多く寄せられました。

高次脳機能障害を持つ方々にとって、より暮らしやすい地域づくり、支援を受けやすいネットワークづくりを目指して、今後も続けていきたいと思えます。



新人紹介

- ①今夢中になっている事
②実は私は○○なんです。 or ○○だったんです。

いぶき

川島 和代

- ①お腹いっぱいになる！低カロリーの料理づくり。
②大きな笑い袋を持った人なんです。



藤の実学園

杉山 大輝

- ①美味しいラーメン屋探しです。
②ディズニーオタクだったんです。



希望寄席御礼



9月7日、まだ残暑の中、毎年恒例の「希望寄席スペシャルステージ2018」が湘南台文化センター市民シアターにて行われました。

今年は、桂雀々師匠に取りを飾っていただき、大盛況の中無事に幕を閉じる事が出来ました。皆様、大変ありがとうございました。

来年も9月に開催いたしますので、みなさんにお会いできる事を楽しみにしております。



第36回光友会 チャリティーコンサート

山本リンダ

チケット発売中



沢田正人

「極上ヴォイス×情熱ダンス」
Voice of Boyz

2019年

1月18日 (金)

開場：17：30

開演：18：30

藤沢市民会館大ホール

お申し込み・お問い合わせ
光友会チャリティー実行委員会事務局

0466-48-1500

S席 (1階指定) : 3,500円
A席 (1階自由) : 2,500円
B席 (2階自由) : 1,000円

■ 後援 / 藤沢市・藤沢市社会福祉協議会・藤沢市みらい創造財団・藤沢商工会議所 ■ 主催 / 光友会チャリティー実行委員会

2018年西日本豪雨災害義援金報告御礼

藤の実会様（藤沢市太陽の家藤の実学園家族会）、せせらぎ会様（湘南希望の郷利用者自治会）、光友会役職員及び各事業所に設置した募金箱にご協力いただいた義援金が200,000円になりました。

皆様からお預かりしました浄財は、8月6日に岡山県倉敷市社会福祉協議会の義援金口座に振り込みました。誠にありがとうございました。

ふくし村まつりを開催しました！

8月26日、恒例の「光友会ふくし村まつり」が、燦々と降り注ぐ陽光のなか開催されました。宮原・瀬郷・打戻の各地区太鼓連の子どもたちによる、祭り囃子を奏でた太鼓の演奏から始まり、大船中学校吹奏楽部による迫力ある演奏、笑顔がいっぱいのライフ湘南によるフラダンス、檣前で元気いっぱいの子もたちが参加した〇×クイズ、盆踊り等が行われました。最後に大抽選会が行われ、盛況のうちに幕を閉じました。

ご来場して頂いた皆様、ご協力して頂いた皆様に心よりお礼申し上げます。



2018年度光友会業務関係資格取得者のご紹介

今年度は次の方が、それぞれの事業所における業務関係資格を取得し、資格取得褒賞付与の対象となりました。忙しい合間を縫っての自己研鑽、大変ご苦労様でした。

◇精神保健福祉士	磯子地域活動ホームいぶき	大橋 智章
◇社会福祉士	磯子地域活動ホームいぶき	山崎 舞子
	磯子地域活動ホームいぶき	稲葉 朋子
◇介護福祉士	湘南希望の郷 武藤 華子	
	湘南希望の郷 山崎 千夏	
	湘南希望の郷 岩戸 美紗	
	藤の実学園 高橋 大	
	湘南希望の郷ケアセンター	川島 幸
	湘南希望の郷ケアセンター	三島 リカ
◇保育士	太陽の家放課後等デイサービス	目近 愛美
◇第1種衛生管理者	磯子地域活動ホームいぶき	横山 法子
◇第2種衛生管理者	湘南希望の郷 下條 隆史	
◇調理師	ライフ湘南 小野 真由美	
◇福祉住環境コーディネーター 2級	湘南希望の郷 田中 雅典	
◇行動援護従業者養成研修	藤の実学園 江口 司	
◇実務者研修	磯子地域活動ホームいぶき	川島 和代
◇レクレーション介護士 2級	湘南希望の郷 岩戸 美紗	
◇ビジネスマネージャー	総括管理部 津田 要	



新しい今日がある



ありがとうございました！

8月2日にイトヨーカドー労働組合湘南台支部様よりご寄付をいただきました。

光友会の事業に有効に使わせていただきます。ありがとうございました。



「第3回福祉川柳」募集のご案内

募集要項

- 応募資格 不問です。
- 募集内容 未発表のものに限ります。一人何作品でも結構です。
- 応募方法 別紙応募用紙に記入し、お近くの光友会事業所へご持参いただくか、ご郵送または次のメールアドレスに必要事項を記入して送ってください。
- info@lfa.jp
- 応募締切 2018年11月30日
- 審査 光友会LFA編集委員会にて審査し、次の賞を選考します。
- 最優秀賞 1作品 (副賞1万円)
- 優秀賞 2作品 (副賞5千円)
- 佳作 5作品 (副賞2千円)
- かわうそ賞 20作品 (副賞かわうそサブレ10枚セット)
- 発表 2019年1月5日 光友会新春の集いにて行います。
- 掲示 光友会ホームページおよび機関紙「LFA」(本紙)に掲載します。
- なお、入賞作品の著作権は社会福祉法人光友会に帰属します。

今年も福祉川柳を募集します。
障害児者の支援・高齢者の介護にかかわっている(する方、いた方、される方、身近に見ている方等)かかわりかたは問いません。あなたの思い(光友会への思いでもかまいません)を「川柳(五・七・五)」にしてみましたか。ユーモアあふれる作品、思わずウルっとくる作品、心温まる作品などを募集します。

第二回福祉川柳入選作品

最優秀賞

どうせ無理 どうして周り 決めつける

優秀賞

福祉とは「福」に「至」と 気づきけり

「それ差別」そう言う妻が 俺差別

佳作

ゆめだった ママとよばれる そのときが

車椅子 押して押されて 紅葉坂

助けるか 待ってみようか 支援の壁

愛情の 愛は無いけど 情残り

見つけたい 「できない」よりも

「できる」こと

・・・ 光友会事業推進協議会だより ・・・

光友会と「愛の輪運動基金、ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業」との関わり

会長 村瀬 道雄

この事業は、ダスキンが財団法人を設立し、アジア太平洋の障害当事者のリーダーを育成しようとして始まった事業です。今回の受入れで20回を迎えました。

五十嵐理事長は、この基金の理事を長年勤められている関係でこの事業に深く関わり、受け入れメンバーの現地面接、メンバーの決定、研修のお手伝いをして来られました。

今年は、ブータン、スリランカ、ミャンマーなどから5人の研修生を受け入れました。9月25日に開講し、まず、日本語を3ヶ月勉強し、次に個別のテーマに沿った研修を日本全国で受け、最後にまとめを東京で受けるという10ヶ月間の研修日程です。その間、スキーの体験、ホームステイして、日本の正月を体験したりします。

光友会については、主に視覚障害の方の研修生で、今までミャンマー、スリランカ、ベトナムなどの研修生を、昨年度はフィジー国の男性を17日間受入れました。

障害者のありようは、国と時代で随分変わってきました。しかし、どの国でも障害当事者は



マイノリティの閉塞感に苦しんできました。彼らは、自分たちが自分たちの現状と未来を自分たちの力で切り開いていく力を身につけるべく、

難しい日本語を身につけ、頑張ってきました。

幸いアジアでの障害者の会議などでは、必ず愛の輪運動基金、ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業の修了生たちが出席するようになり、それぞれの国でリーダーとして育っています。

故五十嵐光雄先生及び、五十嵐紀子現理事長は、光友会設立の頃からアジアに目を向けられ、日本の障害者スポーツなどを携えて、現地に赴かれたと聞いています。わたしたちの法人にはそんな遺伝子が脈々と引き継がれていると思います。今後も広く世界に目を向ける光友会であつたらと願ってやみません。

会費納入と新会員加入をお願いいたします。
1口 2,000円

口座番号 00260-2-49486
(赤色郵便振込用紙)

口座名義 光友会事業推進協議会

*会費納入状況 (9/3現在) : 1,055,500円(277名)
お問い合わせ : 0466-48-1500(担当 本谷)



追悼

9月より療養休暇中だった平澤清 前就労福祉部長が、去る9月25日に永眠されました。光友会勤務27年、利用者の皆様の視点に立った支援を、何より大切にされておられました。謹んでお悔やみ申し上げます。



編集後記

気が付けば10月・・・今年度の後半戦突入・・・朝晩涼しく、日中も過ごしやすくなってきましたね。この時期いつも私は、長野県のバイク仲間のところへリフレッシュを兼ねたツーリングに出かけます。特に今回は、自分の中でのスイッチを入れ替えられるようなコースを走り、心機一転してきたいと思います。季節の変わり目、皆さんご自愛ください。(T. F.)

編集委員

五十嵐理事長、八十島、森(総括管理部)、井地・福田(友)・山田・阿部(就労福祉部)、村井・丸山(藤沢北地域福祉部)、松井・大貫(在宅福祉部)、福田(干)・大竹(藤沢南地域福祉部)、溝渕(磯子地域福祉部)

なお、本誌掲載の写真につきましては、本人、家族、又は団体等の了解を得ています。

季刊 LFA 第139号

発行日 2018年10月

発行 光友会

責任者 理事長 五十嵐 紀子

発行所 〒252-0825 藤沢市瀬郷 1008-1
社会福祉法人 光友会

電話 0466-48-1500

印刷所 光友会 神奈川ワークショップ